■米国：GE と SCE が電力貯蔵システムを利用したガスタービン設備を導入

加州の大手電気事業者サザンカリフォルニア・エジソン社と GE 社は 2016 年 10 月 4 日、世界初のバッテリー貯蔵設備とガスタービンのハイブリッドシステムを 2 カ所に導入すると発表した。本設備は「LM6000HybridEGT」と呼ばれ、GE のエネルギー事業会社カレント社の 1 万 kW バッテリー貯蔵システムと GE 社のガスタービン「LM6000」について、コントロールシステムをアップグレードし、組み合わせたものとなる。GE 社は、ガスタービンによる瞬動予備力（スピニングリザーブ）提供に向けた低負荷運転をなくし、燃料の消費をゼロにできるとしていることから、電力供給が必要となった際、初動時はバッテリー貯蔵システムを活用し、ガスタービン起動後徐々に切り替えていくような仕組みのものと思われる。なお本設備の設置は、昨年発生したアリソキャニオンのガス貯蔵設備からのガス漏れ事故により、貯蔵量が減少した影響を低減することを目的としており、2017 年の早い段階での運開を目指している。